

令和5年度

「市長が訪問します

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和6年1月23日（火）
13時30分～14時30分
2. 開催場所 石浦公民館（うらら館）
3. 参加者 石浦長寿会員、石浦町内会員 21名



【テーマ】 「高齢者のための来年度高山市の政策について」

来年度に向けた市政運営について、市長の考えを伝えるとともに参加者と意見交換を行った。

■市長の講話

- ・観光に力を入れている印象があるが、予算に占める割合は1.2%と少ない。実際は、子育て・福祉・教育に重点を置いており、なかでも医療には力を入れていきたいと考えている。
- ・来年度も市民生活に密着した、きめ細かな取り組みを充実させていきたい。
- ・来年度は第八次総合計画の最終年であり集大成となる。様々な施設の整備を行うが、数年後に成果が出るような投資であると考えている。
- ・年度途中であっても、必要な事には予算を補正するなどして対応していく。

■意見交換（→以降は市長の回答）

- ・新火葬場はいつ頃できるか
→ 議会での決定の後、設計などを経て3-4年後になると思う。
- ・介護予防への考えはあるか
→ 介護予防は大事、健康第一である。
フレイル予防のための事業や健康ポイントを使いやすくしたりするなど、健康を維持するための参加しやすい取り組みが必要である。
公共交通のあり方など、出かけやすいしくみも議論中である。
こんな仕組みがあるといいなということがあれば意見をお寄せください。
- ・「分別は市民の仕事」として、市民一人ひとりがごみの減量化に取り組むべきだと思っている、埋立場はしばらくは大丈夫なのか。
→ 2-3年のうちには次の候補地を考えていかなければならない。

■会長閉会あいさつ

石浦町長寿会は加入対象者1,000人ほどのうち加入者は8%ほどと少なく、生きがいくくりなどの意味でも加入を促進したいが難しい。

市職員OBなどが地域のために動くことも一つの方法なのかと考えている。